

二重床へのタイル張り 標準施工要領書



【 内装床タイル工事への新しいご提案 】

レイフ工法

A method of laying tile on raised floor

高可とう性タイル張付材ポリマーセメントモルタル
柔軟モルタル

高可とう性内装用化粧目地材
柔軟目地

二瀬窯業株式会社

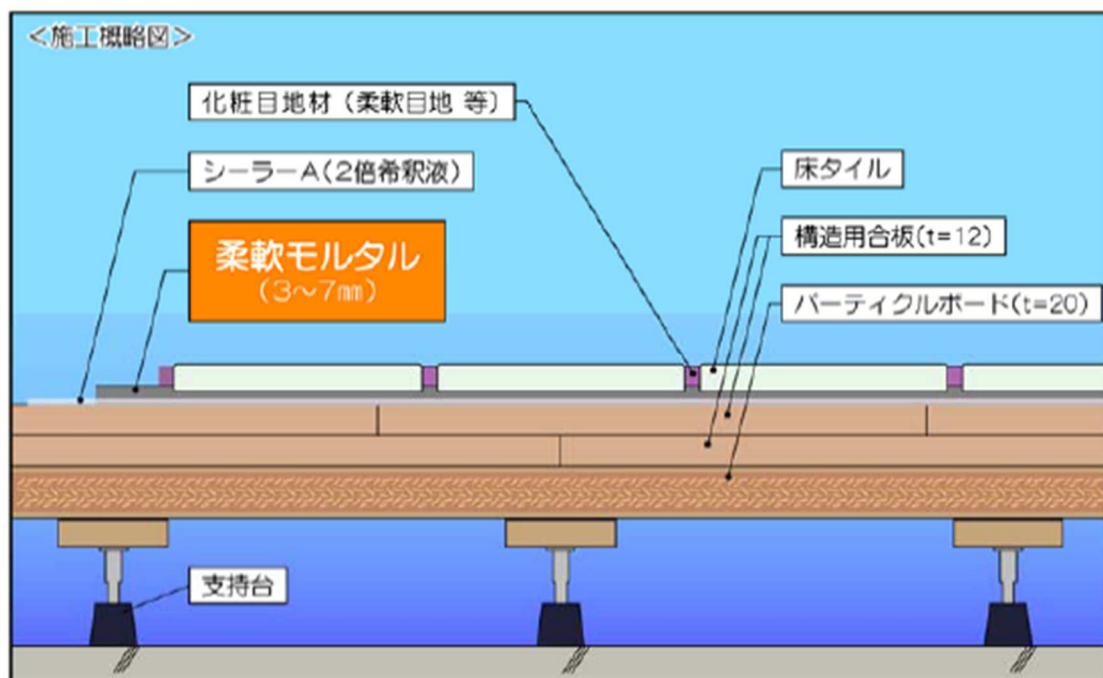
1. 適用範囲

本要領書は置き床工法における床タイル張り工事に適用する。

2. レイフ工法概要

二重床工法とは、マンションなどの遮音性を高める為に、コンクリート床(スラブ)の上に直接カーペットやフローリング材を張るのではなく、間に空間を設け床板を二重にしたものである。二重床工法の中には、1)根太床工法、2)置き床工法、3)浮床工法があり、本要領書においては2)置き床工法についてのみ適用する。

この置き床工法は、主にコンクリート床(スラブ)の上にパーティクルボードなどのベースとなるパネルとそれを支える防振ゴムの付いた支持ボルトなどの支持脚によって床板を構成し、その上に仕上げ材を施工する方法である。弊社レイフ工法では、そのパーティクルボードの上に12mm厚の構造用合板2枚載せ、その上に床タイルを施工することとなる。支持脚は高さ調節が可能で、段差が解消できる(バリアフリー化)。また、スラブと床との間に空間を設ける為、直床工法より防音性・断熱性に優れ、また、水道などの各種配管、ネットワークケーブルなどの各種配線を自由に取回することができる事から、マンションやオフィス、テナントの床面へ近年多く採用されている。



3. 製品の概要(関連資材)

■ 柔軟モルタル (高可とう性タイル張付材/ポリマーセメントモルタル)



粉体重量/袋	加水量/袋	カラー	適用タイル	標準施工面積		
				3mm 厚	5mm 厚	7mm 厚
20kg/袋	約 4.0 リットル/袋	白/灰	600 角程度までの 陶磁器質床タイル	5.3m ²	3.2m ²	2.2m ²

■ 柔軟目地 (高可とう性化粧目地材)



※特注色にも対応

荷姿	カラー (標準色)	適用工法	目地幅によるタイプ	
			Mタイプ	Bタイプ
15kg/箱 (5kgホリ袋×3袋)	クリームベージュ ホワイト ダークグレイ コーラルベージュ グレイ の5色	拭き目地 (塗り目地) 工法	目地幅 3mm 程度	目地幅 3~12mm 程度

■ シーラーA (アク止めシーラー/水系高浸透シーラー)



16 kg 缶

標準施工面積
約 240 m² /16kg
(2 倍希釈)



2 kg PET ボトル

標準施工面積
約 30 m² /2kg
(2 倍希釈)

3. 施工時の環境条件

気温が5℃以下および施工後5℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わない。
施工面が直射日光・風雨時にさらされないようシート掛け等により、十分な養生を施す。

4. 施工

(1) 下地の確認

床コンクリートスラブの上に、防振ゴム付きの支持脚を設置し、その上にパーティクルボード（厚さ20mm）を載せる。

支持脚の設置間隔は455mm以内を推奨する。

(2) 合板の設置(建込み)

パーティクルボードの上に厚さ12mm以上の構造用合板を2枚張りつける。合板は千鳥張りとし、パーティクルボードと合板の目地はずらす。タイル張り施工に適切な下地精度に留意して建込みを行う。

(3) シーラー処理(アク止め処理)

構造用合板の吸水調整及びアク止め処理の為、シーラーAの2倍希釈液をローラー等により施工面全面にムラなく塗布する。1回目の塗布後しばらく放置した後、手につかない程度に乾燥していることを確認し、再度2回目を塗布する。(必ず2回塗布を行う。)

	シーラーA	水道水	標準塗布面積
2倍希釈調合	16kg / 缶	16kg	240 m ²
	2kg / PETボトル	2kg	30 m ²

完全乾燥後、次工程に移る。

(4) タイル張り施工

a) 練り混ぜ

モルタルミキサー等の機械器具を使用し約3分程度を目安にダマが出来ないように練り混ぜる。(過度の練り混ぜは空気混入を増幅するため注意する。)

調合…柔軟モルタル 20kg + 清水 約4.0kg

練り上がった材料は30分以内に使用し、練り足しや加水しての練り返しは行わない。

b) 塗り付け

練り混ぜた柔軟モルタルを金ゴテを使用し、一度下地にこすりつけながら、コテ庄を十分加えて1~2mm程度塗りつける。合板と合板との間は、柔軟モルタルで埋めるか、ファイバーメッシュなどで処理する。こすり塗りを行った後、再度柔軟モルタルを重ね塗りする。塗厚は施工するタイルの寸法に応じて調整する。

タイルサイズ	張付け方法	塗厚の目安
300 角タイルまで	圧着張り	約 7 mm
300 角を超え 600 角程度まで	改良圧着張り	下地側 3~5 mm厚 タイル側 3~5 mm厚

クシ目コテを使用して、クシ目を入れながら塗り付ける。1 回の塗り付け面積は 1 人あたり 2m² 以内を目安とする。

c) 張付け

タイルの張付けは、柔軟モルタルを塗り付けてから 15 分以内とする。材料が柔らかいうちにタイルを張り付け、タタキ板等を使用して十分に叩き込む。気温等の環境によって乾燥時間が変わるため、粘着状況を触りながら確認する。指につかなくなるまで乾いてしまったときは、削り取って再度柔軟モルタルを塗り付ける。

300 角を超える大きさのタイルは改良圧着張りを行う。

注意 : 目地幅は 3 mm 以上とし、突きつけ張りは避ける。

目地からはみ出した柔軟モルタルは除去し、目地深さがなるべく一定になるように目地コテで均しておく。

d) 養生

タイル張り後、夏期 24 時間、冬期 48 時間はタイル面を踏んではならない。
施工面が直射日光、雨、雪、風にさらされないように保護しておく。冬期は乾燥硬化が遅延するため、タイル面への直接シート掛けはしない。

(5) 目地詰め施工

a) 練り混ぜ

モルタルミキサー等の機械器具を使用し約 3 分程度を目安にダマが出来ないように練り混ぜる。

調合 … 柔軟目地 Mタイプ 5 kg/袋 + 清水 約 1.5 ℓ

柔軟目地 Bタイプ 5 kg/袋 + 清水 約 1.3 ℓ

練り上がった材料は 30 分以内に使用し、練り足しや加水しての練り返しは行わない。

b) 目地詰め

練り混ぜた柔軟目地をゴムコテでタイル面から押さえるように目地部に塗りこみ、目地内部に空隙が残らないように十分に充填する。

タイル汚れの拭き取りは、乾燥具合を見計らい、スポンジに一度水を含ませて水が出なくなるまで固く絞り、タイル表面を一度荒拭きして汚れを軟らかく戻す。スポンジのきれいな面で目地の通りに対して斜めに拭き取る。汚れたスポンジは水洗いを行い、固く絞ってから再度拭き取りを繰り返す。

注意 ; 1回の施工（塗付けから拭き取りまで）は25分以内で完了するよう調整する。
タイルの拭き取りは早めに行う。拭き取り後、目地表面に浮き水が残存していると色ムラの原因になるため、浮き水が残らないよう注意する。場所によって拭き取るタイミングに差がでると色ムラが出る恐れがあるので注意する。

c) 養生

目地詰め後、48時間は施工面が直射日光、風雨雪にさらされないように保護する。施工後、すぐにタイル面に直接シート掛けを行うと白華現象の原因となるため、シート養生は目地材が乾燥してから行う。

タイル表面の水洗いを行う場合は、柔軟目地の材齢が7日間以上経過してから行う。

■ 取り扱い注意事項

- ・ 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内にご使用下さい。
- ・ 製品の保管は直射日光や水濡れを避ける場所とし、パレットなどに載せて床への直置きを避けて下さい。また、必要に応じてシート掛けなどによって保護して下さい。
- ・ 開封した製品は、その日のうちにご使用ください。
- ・ 練り混ぜに使用する水は、水道水等の清浄水を使用して下さい。
- ・ 指定材料以外は混入しないで下さい。
- ・ 製品のご使用に際しては、防塵マスク、防塵眼鏡、保護手袋など着用の上、適切な安全対策を実施して下さい。詳しくは、安全データシートをご参照ください。

本要領書は、新しい技術情報等の入手により断りなく改訂することがありますことをご了承下さい。

二瀬窯業株式会社

本社/福岡営業所: 〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669
TEL (0948)22-0447/FAX(0948)29-0289

東京営業所 TEL(03)6453-6685
大阪営業所 TEL(06)6583-3310
名古屋営業所 TEL(052)509-2485